

雲取山周辺の歩道整備（石積み作業）を行いました

今年も、東京都レンジャーとサポートレンジャーでは、歩道の複線化、拡幅化を防ぐための石積み作業を雲取山周辺で行いました（協力：奥多摩ビジターセンター、環境省）。

平成18年度から取り組んでいる活動で、今年で13年目を迎えます。

当初、踏み込みにより荒廃していた部分にも植生が戻り、歩道の複線化も解消してきています。

引き続き、通行の際には登山道から外れないよう、ご協力をお願いいたします。



山でのマナーについて考えてみよう

ポイ捨て枝



登山口に積まれた枝

写真は登山口で時々みかける光景。登山中のストック代わりに使ったのでしょう。

枝を使うことは良いと思いますが、気軽にポイ捨てしてしまうことで処分に困っている地元の方々もおられます。

みんなが気持ちよく自然公園を利用できるように、ちょっとした所にも気を付けてほしいと思います。

その一歩の先

高尾山では近年、観察や撮影目的による登山道外への踏み外しや、植物生息地の踏み荒らしが深刻な問題になってきています。これまでは主に盗掘に対する対応策を練ってきましたが、それだけでは植物を守ることが出来ない状況になりつつあります。背景には、SNSなどを介した情報伝達の速さや、観察者側の自然の接し方の問題があります。希少種の情報をむやみに公開され、その価値を十分に理解されないまま「珍しいものを見たい」という認識のみで不特定多数の人が登山道外に踏み込んだり、生息場所の斜面などに撮影をするために足を乗せます。その結果、踏圧により植生が荒らされたり、その株自体が踏まれて消えてしまったケースもあります。観察自体は決して悪い事ではありません。しかし、配慮が不足すれば、その花が消えてしまうのです。その一歩が何をもたらすか、よく考えて行動をして下さい。



ニホンリスと出会う



雲取山にて

高尾山にて

登山の楽しみの一つは動植物との出会い。特に哺乳類の動物たちとの出会いは格別です。ニホンリスは奥多摩や高尾で比較的に出会うことの多い動物の一つです。

ニホンリスは樹上で生活していますが地上にも降りてきます。

見つけるコツは気配を感じることに。登山中はつい足元ばかり見てしまっていることがあります。あたりを見回し樹上や地面の上をすばしっこく動いているものを探してみてください。

小さな体なので足音は聞こえませんが、落ち葉を蹴散らす音が聞こえることや、木の実を食べたり抱えている姿に出会うこともあります。

山のアーティスト

先日の巡視中、山の中で天然のオブジェを発見しました！

それは、木の葉の一部がメッシュ状になっていて、まるで葉脈標本のような様子でした。

この天然のオブジェは、日の光のスポットライトを浴びてキラキラと輝き、とても幻想的な光景を生み出していました。

このオブジェはどの様にして生まれたのでしょうか？

それは、ハムシやガの幼虫が葉肉の部分だけを食べて、葉脈の部分を残してしまうことで生まれるそうです。

幼い幼虫は葉の柔らかい部分しか食べられないため、細かい葉脈も残り、とても精巧なオブジェとなるそうです。

人間は薬品などを使って葉脈標本を作りますが、虫たちは自分の力だけで作りあげます。

こんなにも綺麗な芸術作品を作る彼らは、まさに山のアーティストではないでしょうか。



東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551